

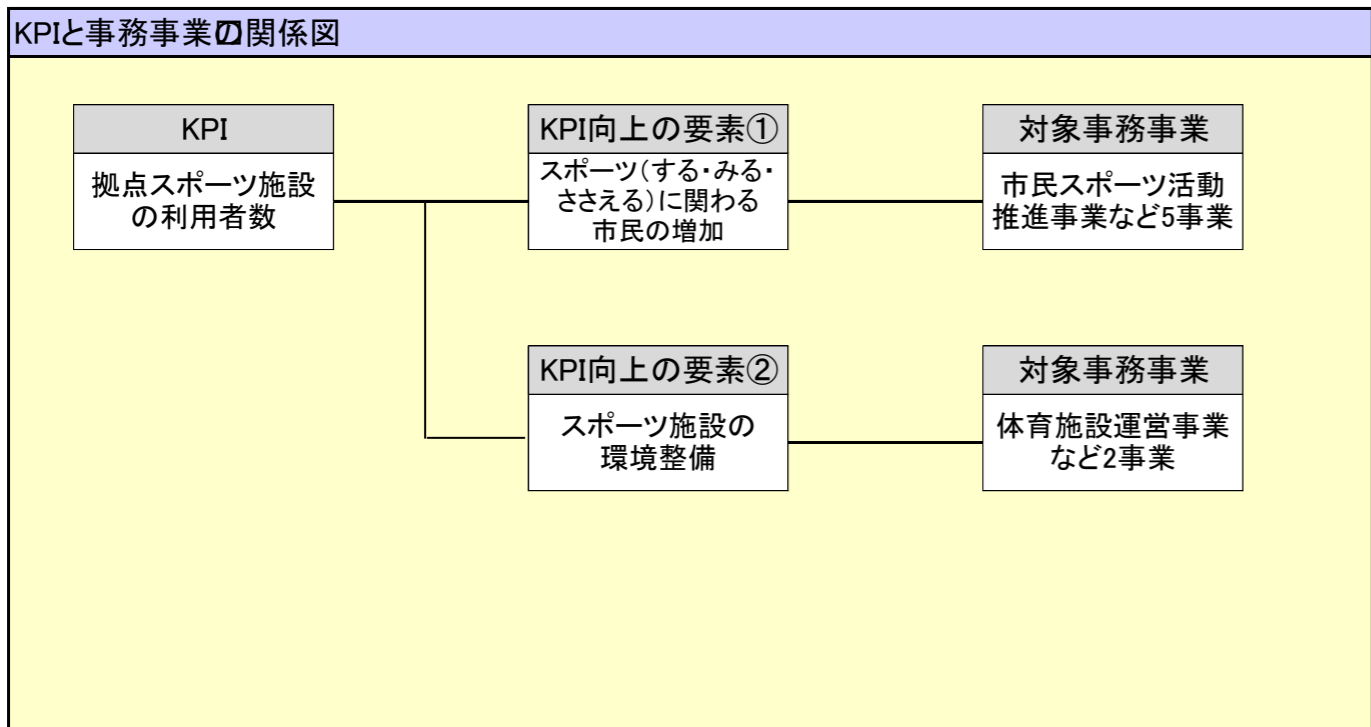
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩
------	-------	---------------	-------

施策名	生涯学習・生涯スポーツの充実		施策の方向性	生涯学習の環境整備	
施策の目的	地域のつながりや豊かな郷土を作るために、多くの市民が生きがいをもって、生涯学習・生涯スポーツに取り組むことができる環境を充実させることを目的としています。			生涯学習の充実	
				歴史文化の保存・活用・継承	
				生涯スポーツの充実	
総位置付け	分野	ひと	総合計画	78~79	ページ
	政策	教育政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
拠点スポーツ施設の利用者数	人	530,348	532,000	373,816	70.3%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	市民スポーツ活動推進事業	スポーツ振興課	①	22,042	2,883	19,159	2.43
02	ジュニアスポーツ推進事業	スポーツ振興課	①	10,141	2,329	7,812	0.99
03	体育スポーツ振興補助事業	スポーツ振興課	①	6,786	3,866	2,920	0.37
04	スポーツ協会運営補助事業	スポーツ振興課	①	33,867	27,617	6,250	0.79
05	東京2020オリンピック等関係経費	スポーツ振興課	①	35,492	25,234	10,258	1.30
06	体育施設運営事業	スポーツ振興課	②	321,477	306,153	15,324	1.94
07	体育施設整備事業	スポーツ振興課	②	142,318	132,991	9,327	1.18
08				-	-	-	-
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	572,124	501,073	71,051	9.00
---------	---------	---------	--------	------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●スポーツ施設及びスポーツ活動のサポートが十分に対応できていません。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●市民がスポーツ（する・みる・ささえる）に親しめる環境づくりを推進します。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	C	KPI目標値を十分に達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●R3目標値に対して、70.3%と大きく下回りました。</p> <p>●R2年度よりも改善はしたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を継続して行ったため、令和3年度においてもスポーツ施設の休場や、開場後も感染リスクの低減のため、多くの大会が中止になったことなどにより、利用者数が落ち込んだものです。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>【スポーツ振興課の全事務事業】</p> <p>R4年度に策定したスポーツ推進計画の基本理念、ビジョン及びミッションに基づき、計画の目標達成のため、再編・再構築に加え、新規事業を立案・実施していきます。</p> <p>また、スポーツ推進計画の策定に伴い、スポーツ振興課とスポーツ協会との役割を再構築し、スポーツ振興課は、スポーツ推進計画の更新及び進捗管理とスポーツ政策の企画立案に特化する方向に組織のあり方を見直します。</p> <p>【体育施設整備事業】</p> <p>スポーツ施設のLED化を計画的に進めていきます。</p> <p>【ジュニアスポーツ推進事業】</p> <p>東京2020オリンピックのレガシーとして、スペインとの、ハンドボールを介した交流を通じて、ハンドボール競技の市内ジュニア層の競技力向上を目指します。</p>	
再編・再構築する事業	<p>【スポーツ振興課の全事務事業】</p> <p>R4年度に策定したスポーツ推進計画の基本理念、ビジョン及びミッションに基づき、スポーツ振興課の全事務事業について、再編・再構築を行い、計画の着実な実施を図ります。</p> <p>【スポーツ大会推進事業】</p> <p>小柳賞ロードレース大会については、開催時期や距離、コースなど全体的な見直しに着手します。</p> <p>市民体育祭については、市民誰もが、参加できるスポーツレクリエーションのイベントとして再構築に着手します。</p> <p>【スポーツ少年団経費】</p> <p>スポーツ少年団経費については、他の事業との再編・再構築に向けた検討に着手します。</p> <p>【体育スポーツ振興補助事業】</p> <p>R4年度に引き続き、制度見直しを行ってまいります。</p>	
官民協働の方向性	<p>【スポーツ大会推進事業】</p> <p>スポーツ大会推進事業における小柳賞ロードレース大会や市民体育祭について、市内外の企業からの協賛が得られるように包括連携先の企業を中心に協働連携の具体化を図ります。</p>	

令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月9日

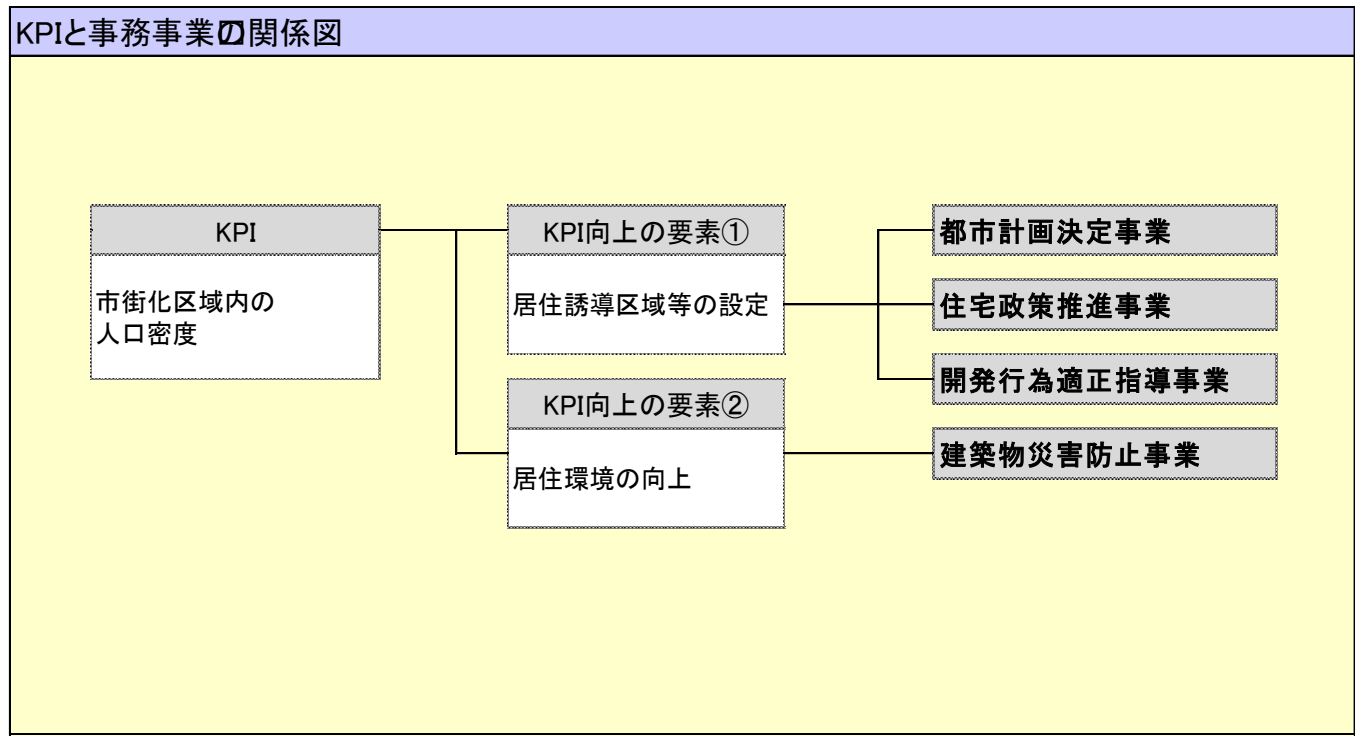
担当部局	都市整備部	責任者 (部局長名)	溝口 勝利
------	-------	---------------	-------

施策名	居住誘導の推進		施策の方向性	持続可能なまちを目指した居住誘導の推進
施策の目的	佐世保市都市計画マスタープラン等のまちづくり計画により、適正に都市部への居住誘導を図ることを目的としています。			安全・安心な居住環境の維持
総位置付け	分野	まち		空き家の適正管理の促進、活用
政策	都市政策			
			総合計画	86~87 ページ

◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト (千円)			
				事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)	
01	都市計画決定事業	都市政策課	①	48,874	9,419	39,455 5.00	
02	住宅政策推進事業	都市政策課	①	14,248	6,357	7,891 1.00	
03	開発行為適正指導事業	建築指導課	①	59,660	9,158	50,502 6.40	
04	建築物災害防止事業	建築指導課	②	80,238	32,182	48,056 6.09	
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
市街化区域内の人口密度	人/ha	44.5	44.1	42.8	97.1



事業費等の合計	203,021	57,116	145,905	18.49
---------	---------	--------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●都市機能や居住区域の拡がりを許容するまちづくりを続けていくと、人口密度が低く拡散した都市となってしまう、少ない人口で多くの公共施設の維持管理などの費用を負担することになり、サービス効率の低下が懸念されます。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●コンパクトでまとまった市街地の中で効率よく都市活動を営むために、都市部において適正に居住誘導を図ります。</p>
西九州させば広域都市圏における方向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●佐世保市域において中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿の調査研究や広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指し、連携中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

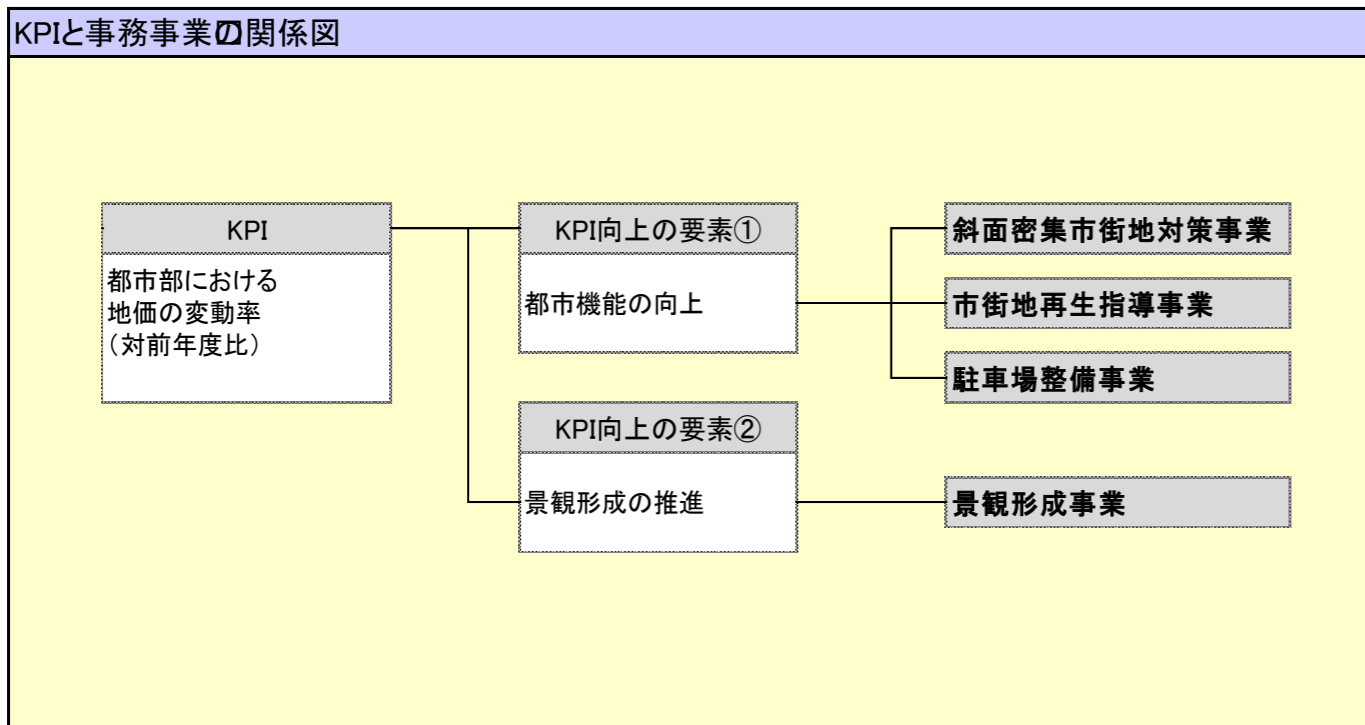
A: 100～ KPI目標値を達成できた
 B: 80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C: 60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D: ～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●令和3年度の市街化区域内の人口密度（KPI）は、おおむね目標達成することができました。これは人口の変化率（H27～R3）が、市内全体に比べ市街化区域内の人口減少が抑えられたものと考えられます。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【都市計画決定事業】	<p>●「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造を目指すために、「立地適正化計画」および「都市再生整備計画」の策定を進め、公民連携による都市再生に取り組みます。また、都市計画道路（佐世保縦貫線）の都市計画手続きを進め、整備促進を図ります。</p>
	【住宅政策推進事業】	<p>●住宅の実態調査等を基に、総合的な住宅政策である「住生活基本計画」の策定および現行の「空家等対策計画」の見直しを進め、良好な住環境形成に向けた取組を行います。</p>
再編・再構築する事業	【開発行為適正指導事業】	<p>●市街地への都市機能や居住の誘導を図るため、市街化調整区域の許可を適正に執行します。また、盛土規制については、盛土規制法案の施行を見据え、盛土の基礎調査や規制区域の指定準備を進めます。併せて実効性のある規制の導入を研究します。</p>
	【建築物災害防止事業】	<p>●安全・安心な住環境をつくるため、地域の実情を熟知した自治体等へ空き家等について聞き取りを行い、所有者への指導強化を図ります。また、老朽危険空き家除却費補助については、引き続き、制度のあり方など検証を行います。</p>
官民協働の方向性	<p>●特に都市計画決定事業に関する都市の再生、及び住宅政策推進事業、建築物災害防止事業に関する空家対策については、関係する団体と協議をしながら、公民連携を基軸として取り組んでいきます。</p>	

担当部局	都市整備部	責任者 (部局長名)	溝口 勝利
------	-------	---------------	-------

施策名	地域の特性に応じたまちづくりの推進		施策の方向性	都市機能の向上		
施策の目的	各地域の特性に応じた都市機能や魅力向上を図り、持続可能なまちづくりを推進することを目的としています。			景観形成の推進		
総位置付け	分野	まち				
	政策	都市政策		総合計画	88	ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
都市部における地価の変動率 (対前年度比)	%	▲1.1%	▲0.7%	▲0.7%	100%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	斜面密集市街地対策事業	まち整備課	①	136,692	110,652	26,040	3.30
02	市街地再生指導事業	まち整備課	①	18,283	4,079	14,204	1.80
03	駐車場整備事業	まち整備課	①	8,748	68	8,680	1.10
04	景観形成事業	まち整備課	②	57,341	19,464	37,877	4.80
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	221,064	134,263	86,801	11.00
---------	---------	---------	--------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●近年、人口減少・少子高齢化など社会情勢が大きく変化しており、斜面地等の既成住宅地においては、防災面や住環境面など様々な課題を抱えております。</p> <p>また、中心市街地においては、一定の都市機能の集積は図られているものの、戦後、建築された建物の耐震性や老朽化、細分化された土地の有効活用などの課題が顕著化してきております。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●各々の拠点（核）において、地域の実情を踏まえた上で、将来のまちの姿を見据えながら、近年の社会情勢の変化やまちづくりにおける各地域の特性に応じて、まちづくりを推進します。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●関連性のある景観資源のPRのために、関連市が一体となり情報発信を行うことを検討していきます。</p> <p>●相互の景観形成や景観資産の保全を図るため、バッファゾーンとなるエリアでの認識共有を検討していきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	A	KPI目標値を達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●指標の対象となる測点（24地点）のうち、都市核や地域核の地価については、横ばい若しくは上昇傾向となりましたが、生活核及び事業実施地区の地価については、横ばい若しくは下落傾向となり、全体としては対前年度比△0.7%という結果となりました。</p> <p>●県公表の地価調査結果の概要によると、本市内の好立地の住宅地では横ばいから上昇に転じた地点が多く、中心部の住宅地では高い取引もあり、今のところコロナ禍の影響は小さい。</p> <p>●また、街路条件の劣る斜面地の住宅地は依然として下落地点が多く、二極化が見られるとの評価となっています。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【斜面密集市街地対策事業】	●斜面密集市街地対策事業については、モデル4地区のうち、矢岳・今福地区において、車みち整備事業による道路整備を推進します。他の3地区（戸尾・松川地区、福田・中通地区、東山地区）においては、現在実施中の道路整備について、各地区で設定している完了目標年度での完成を目指し、整備完了後には事業効果を検証します。また、立地適正化計画に基づく斜面市街地の再生について、民間活力導入の可能性について検討を行います。
	【景観形成推進事業】	●景観形成推進事業については、IR誘致の状況を踏まえながら、本市の主要な観光資源であるハウステンボスの周辺地区の重点景観計画について、地元の合意形成及び計画策定に向けて取り組みます。また、『させば景観100選』の改訂を見据えた素材収集を目的として、SNS活用によるフォトイベントを実施しています。
再編・再構築する事業	【駐車場整備事業】	●駐車場整備事業については、自転車等駐車場の有料化の可能性について、他都市の事例を参考にしながらさらなる検討を進めます。
	官民協働の方向性	【市街地再生指導事業】 ●市街地再開発事業等については、市街地再開発事業等の相談に対し、適切な指導や助言を行うための知識を習得するとともに、栄・湊地区における市街地再開発事業については、公民連携（準備組合との役割分担）により検討を進めます。

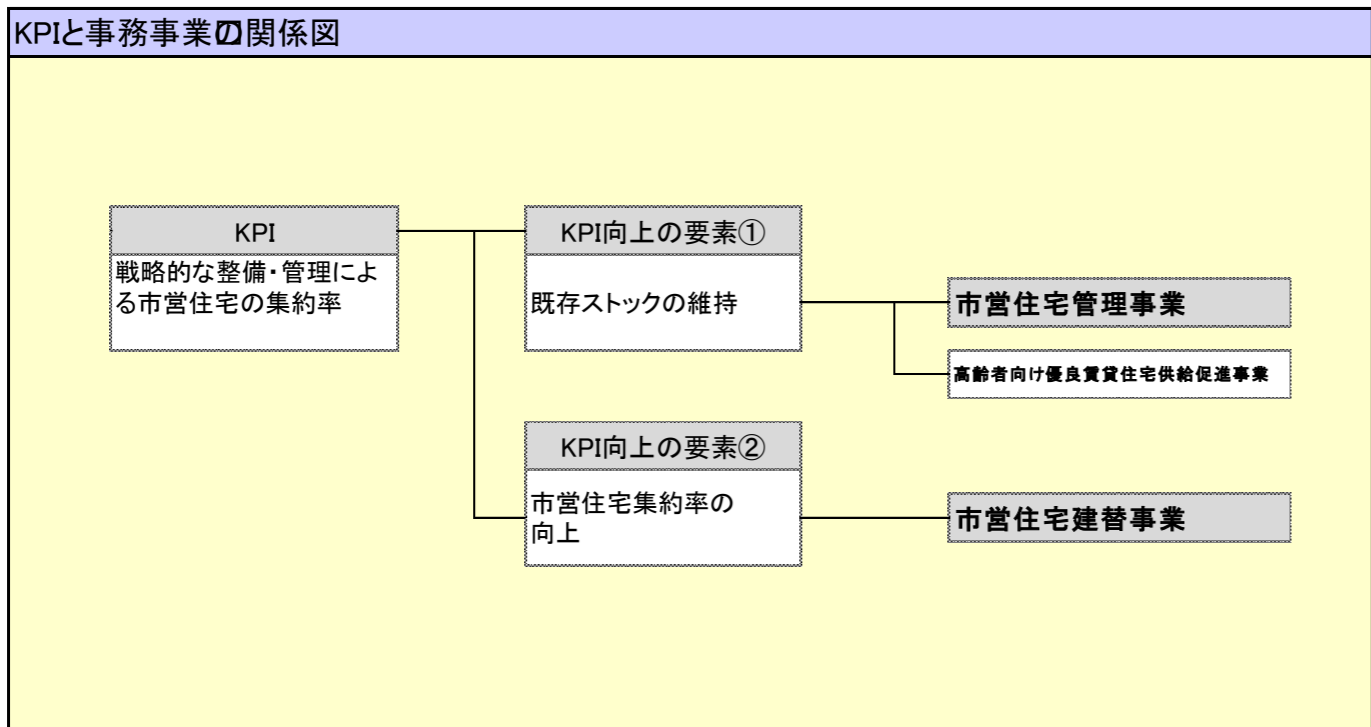
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月8日

担当部局	都市整備部	責任者 (部局長名)	溝口 勝利
------	-------	---------------	-------

施策名	市営住宅の戦略的な整備		施策の方向性	市営住宅長寿命化計画による整備及び修繕		
施策の目的	市営住宅の需要を見通し、適切な整備及び管理を行うことにより、居住環境の向上を図ることを目的としています。					
総位置計付け	分野	まち				
	政策	都市政策	総合計画	89	ページ	

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
戦略的な整備・管理による市営住宅の集約率	%	97	98.53	98.81	100



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	市営住宅管理事業	住宅課	①	1,952,406	1,894,802	57,604	7.30
02	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	住宅課	①	2,266	688	1,578	0.20
03	市営住宅建替事業	住宅課	②	2,722,612	2,702,884	19,728	2.50
04				-	-	-	-
05				-	-	-	-
06				-	-	-	-
07				-	-	-	-
08				-	-	-	-
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	4,677,284	4,598,374	78,910	10.00
---------	-----------	-----------	--------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	●昭和30年代から高度成長期に建設された多数の市営住宅が、老朽化による更新時期を迎えています。
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	●建物の老朽化や将来の人口減少等の課題に適切に対応していくため、計画的な修繕や建替えによる集約を推進します。
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	●なし

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	A	KPI目標値を達成できた
KPI達成状況の分析		
●長寿命化計画に基づき目標通り事業を行うことができ、また懸案住宅を集約することができたため、目標以上の集約率を達成することができました。		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	●市営住宅管理事業において、高齢化や世帯の少人数化といった入居者の変化に対応するために、計画的な修繕及び改善を行い、安心・安全な住宅の供給に努めます。 ●市営住宅建替事業において、人口・需要減少に伴い、効率的な行政サービスを提供するため、建替えによる住宅の集約を進めます。一方、建替えに伴う入居者の移転が円滑に進むよう、関係部署とも連携しながら事業の進捗に努めます。	
再編・再構築する事業	●なし	
官民協働の方向性	●なし	

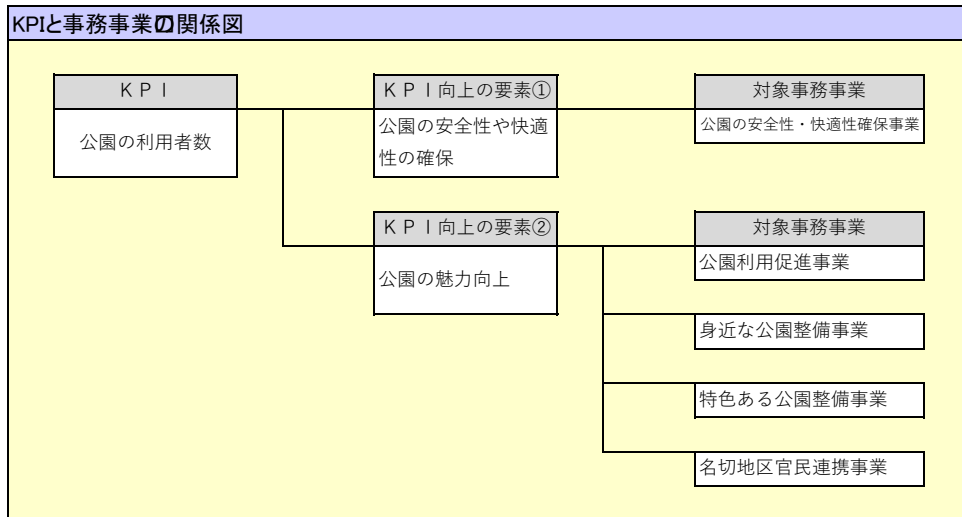
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評価シート**

作成日 令和4年8月16日

担当部局	都市整備部	責任者 (部局長名)	溝口 勝利
------	-------	---------------	-------

施策名	公園の機能充実		施策の方向性	公園の機能充実		
施策の目的	公園を安全で快適な憩いの空間として提供することで生活を豊かにすることを目的としています。			公園の利用促進		
総位置 分野	まち					
計画 政策	都市政策		総合計画	90	ページ	

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値 平成30年度	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
			目標値	実績値	
公園の利用者数	人	207,000	207,000	209,393	101.2



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費(千円)	人件費(千円)	人工(人)
01	公園の安全性・快適性確保事業	公園緑地課	①	635,852	516,698	119,154	15.10
02	公園利用促進事業	公園緑地課	②	4,395	1,239	3,156	0.40
03	身近な公園整備事業	公園緑地課	②	79,194	61,834	17,360	2.20
04	特色ある公園整備事業	公園緑地課	②	43,150	40,783	2,367	0.30
05	名切地区官民連携事業	公園緑地課	②	302,739	286,957	15,782	2.00
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	1,065,331	907,511	157,820	20.00
---------	-----------	---------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	●公園を安全で快適な憩いの場として市民へ提供することが重要ですが、公園施設の老朽化や公園数の増加等により、公園における適切な維持管理が難しい状況です。
	問題点を解決するための方針（手段）
問題解決の方向性	●公園において、利用者に安全で快適に利用していただくために、施設再編や長寿命化計画による改修などを行い、機能充実を図ります。
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	ゲートウェイ機能強化を図り、拠点施設（拠点公園）の整備を進めていきます。

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	A	KPI目標値を達成できた
KPI達成状況の分析		
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設の休館（えぼしスポーツの里）や業務縮小（白岳自然公園、長串山公園）を行わざるを得ない状況のなか、えぼしスポーツの里においては、季節ごとのイベントを実施するなど指定管理者の努力により、利用者数が目標よりも9千人程度多かったことから、目標を達成することが出来ました。		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【公園管理運営事業】	●公園施設の再編については、令和3年度に策定した再編方針に基づき、令和4年度にモデル地区（相浦西小、大塔小校区）において、地域との意見交換を実施し、再編に係る実施計画の策定を目指します。 ●公園に関する情報提供及び収集について、佐世保市DX戦略に基づくSNS等の活用を引き続き検討し、令和6年度からの本格運用を目指します。
	【公園施設長寿命化対策事業】	●一部の公園施設を対象に先行的に実施していた長寿命化対策事業について、令和2年度に全市的に対象施設を追加し長寿命化計画を見直したことから、令和4年度から本格的な長寿命化対策に着手し、今後計画的な事業の推進を図ります。 【九十九島観光公園整備事業】 ●九十九島動植物園の移転検討と合わせ、庁内のプロジェクトチーム等において今後の本格供用に向けた検討を進めます。
再編・再構築する事業	●「公園PR事業」については、令和4年度業務が展望所樹木管理業務のみとなるため、今後は当該業務を管理業務の一部と捉え、令和5年度から「公園管理運営業務」に統合します。	
官民協働の方向性	【九十九島観光公園】	●九十九島動植物園の移転検討と合わせ、本格供用に向けた検討を進めますが、官民連携による管理運営手法を基本とした検討を行います。 【公園管理運営事業】 ●公園愛護会活動については、自治会等による公園の維持管理が高齢化等により年々厳しくなっており、今後は公園愛護会からの脱退が増加するものと考えられるため、業者への委託や障がい者の雇用等、別の手法について検討を行います。 ●PARK-PFIや指定管理者制度など、特にまちなかの公園について、導入の可能性の検討を行います。 【公園施設改修事業】 ●公園施設の安全性の確保については、QRコードを活用した市民からの通報制度を導入していますが、今後、LINEの活用を含め、施設の不具合等について迅速な対応を行うことで、安全性の確保に努めます。

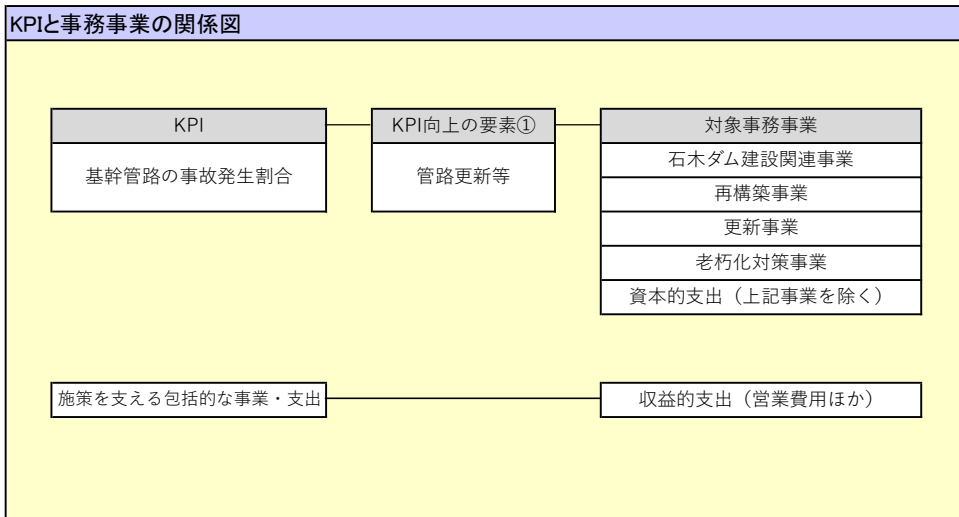
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評価シート**

作成日 8月23日

担当部局	水道局	責任者 (部長名)	中島 勝利
------	-----	--------------	-------

施策名	水の安定供給の推進		施策の方向性	石木ダムの建設促進	
施策の目的	安全安心な水を安定して供給することを目的としています。			水道施設の整備及び水質の確保	
				危機管理体制の充実	
総位置 合置 計付 画け	分野	まち	総合計画	93	ページ
	政策	水道政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
基幹管路の事故発生割合	件/km	2.1件/100km	2件/100km	3.2件/100km	62.5



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	石木ダム建設関連事業		①	324,926	324,926	71,019	9.00
02	再構築事業		①	1,313,648	1,313,648	118,365	15.00
03	更新事業		①	1,312,978	1,312,978	118,365	15.00
04	老朽化対策事業		①	518,414	518,414	78,910	10.00
05	資本的支出(上記事項を除く)		①	1,754,339	1,754,339	0	0.00
06	収益的支出(営業費用ほか)			6,039,725	6,039,725	978,484	124.00
07				-	-	-	-
08				-	-	-	-
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	11,264,030	11,264,030	1,365,143	173.00
---------	------------	------------	-----------	--------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	<p>施策の問題点の整理</p> <p>●水を安定して供給するために必要な水源が慢性的に不足しており、本市の最重要課題の一つとなっています。</p> <p>また、水道施設は戦前または終戦直後の軍港水道時代に作られたものが多く、起伏が激しい地形に起因して他都市よりも多くの施設を有していることから、それらが今後更新時期を迎えることで、水道事業にかかる施設の更新需要は増大する見込みとなっています。</p>
	<p>問題点を解決するための方針（手段）</p> <p>●水源不足の早期解消を目指すとともに、今後増大する更新需要に対し健全な経営を持続させるため、施設のライフサイクルコストの低減やリスク管理を行いながら費用の平準化を図り、水道施設の計画的な更新及び再構築を行います。</p>
	<p>広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性</p> <p>●水の安定供給や下水の安定処理を持続していくため、県の主導的役割のもと、長崎県内における各自自治体の地勢条件、人口、財政状況等を総合的に勘案し、本市上下水道の経営基盤の強化につながる広域連携の形態や枠組みについて検討していきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	C	KPI目標値に十分達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●R3年度においては基幹管路の事故（破裂等）が「3.2件/100km（実数9件）」発生しており、目標値は達成できませんでした。</p> <p>●目標未達成の要因ですが、R3年度は主に老朽化対策の対象外であった2系統の導水管で老朽化による事故が複数発生したことにより目標値を達成できなかったものです。なお、事故への対応については応急態勢を整え早期対応ができたためKPIの目標は達成できませんでした。基幹管路の事故に起因した断水は発生しておらず、施策の目的である水の安定供給には支障ありませんでした。</p> <p>●現在、水道局では事故発生時に大規模な断水により市民生活に大きな影響を及ぼす可能性がある基幹管路（主要な水道管）を優先的に更新しており、導水管の更新は管路の口径が大きく更新完了までに長期間を要すことから、事故の発生状況を注視しながら更新を行っていきます。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>●石木ダム建設関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 石木ダム建設については、市民への広報や啓発について、より積極的な情報発信に努めるとともに、引き続き長崎県及び川棚町と連携して事業を推進します。 <p>●再構築事業及び更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、水の安定供給の目的のため基幹管路の更新を計画的に行うとともに、事故発生時における早期復旧のためR6年度までに監視システムの更新及び応急資機材を整備するなどの対応を強化します。 水道施設の統廃合や管路の長寿命化及び将来の更新需要の削減に取り組みます。 <p>●健全経営の持続</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記を達成するための前提として、アセットマネジメントを効率的に実践できる経営戦略の改定に向けた作業をR5年度を目途に行います。 	
再編・再構築する事業		
官民協働の方向性		

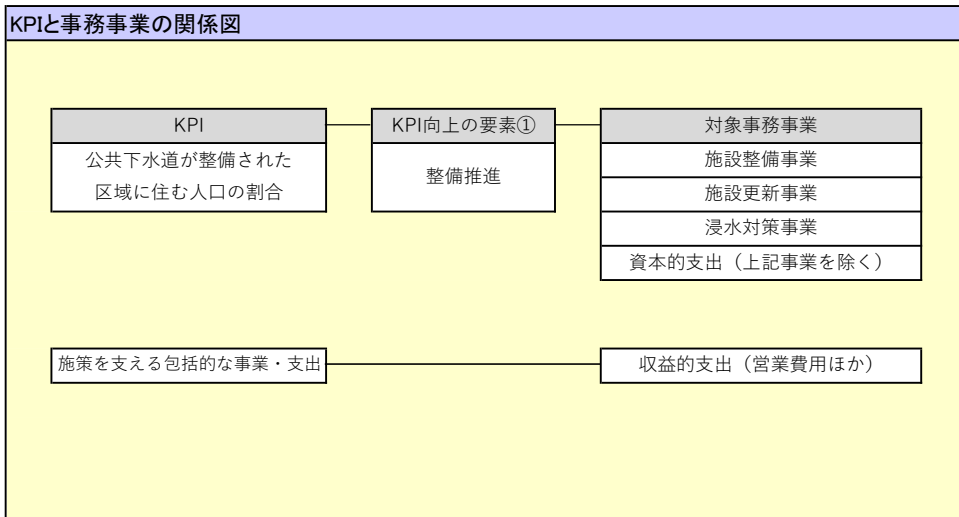
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評価シート**

作成日 8月22日

担当部局	水道局	責任者 (部長名)	中島 勝利
------	-----	--------------	-------

施策名	公共下水道の普及推進と安定処理		施策の方向性	公共下水道の普及推進
施策の目的	快適な暮らしができるよう公共下水道の普及を推進し、安定した下水処理を継続することを目的としています。			下水の安定処理
				危機管理体制の充実
総位置計画	分野	まち		
	政策	水道政策	総合計画	94 ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
公共下水道が整備された区域に住む人口の割合	%	58.5	63.2	60.4	95.6



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費(千円)	人件費(千円)	人工(人)
01	施設整備事業		①	2,527,381	2,527,381	228,839	29.00
02	施設更新事業		①	1,195,498	1,195,498	31,564	4.00
03	浸水対策事業		①	310,397	310,397	0	0.00
04	資本的支出(上記事業を除く)		①	1,567,870	1,567,870	0	0.00
05	収益的支出(営業費用ほか)			4,819,556	4,819,556	299,858	38.00
06				-	-	-	-
07				-	-	-	-
08				-	-	-	-
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	10,420,702	10,420,702	560,261	71.00
---------	------------	------------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	施策の問題点の整理
	<p>●公衆衛生の向上や都市の健全な発達を図るために、公共下水道の整備を推進しているものの、普及が遅れている状況です。</p> <p>また、下水道施設は整備着手から約70年が経過しており、今後段階的な老朽化の進行が予想されます。</p>
	問題点の整理
問題解決 の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●未普及地域の公共下水道の整備を推進するとともに、施設の状態を長期的に予測しながら重要度及び健全度を踏まえた下水道施設の計画的な維持管理を行います。</p>
問題点の 整理	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●水の安定供給や下水の安定処理を持続していくため、県の主導的役割のもと、長崎県内における各自自治体の地勢条件、人口、財政状況等を総合的に勘案し、本市上下水道の経営基盤の強化につながる広域連携の形態や枠組みについて検討していきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●平成24年度に平成49年度（令和19年度）整備完了を目標とした新たな下水道整備計画「佐世保市公共下水道中長期計画（計画期間：H25～H49（R19）までの25年間）」を策定し、同計画に基づいた目標値（KPI）を設定しております。</p> <p>●R3年度のKPI達成状況は「概ね達成できた」となっておりますが、下水道整備計画全体では目標値と実績値の乖離幅は年々拡大している状況です。</p> <p>●その要因は、労務単価の上昇（計画比57.4%増）に起因した整備単価の上昇による整備面積の減（計画比47.2%減）等によるものです。</p> <p>●こういった状況を踏まえ、現在、整備区域や整備手法の見直しをはじめとした整備計画そのものの抜本的な見直しの検討を行っており、R4年度末までに今後の方向性について見直し後の目標値などとりまとめます。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>●施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に西部処理区（相浦、日野、新田、吉岡・中里、皆瀬処理分区）及び中部処理区（早岐、広田、有福処理分区）の一部について重点的に施設整備（普及拡大）を行います。 ●現整備計画の見直しについて検討を進め、佐世保市総合計画後期改定にあわせて、汚水処理区域の適正化やKPIの目標設定を再検討し、公共下水道の早期完成に努めていきます。 	
再編・再構築する事業		
官民協働の方向性		

担当部局	土木部	責任者 (部局長名)	田島 克巳
------	-----	---------------	-------

施策名	暮らしと成長を支える道路ネットワークの充実	施策の方向性	広域道路ネットワークの強化
施策の目的	広域的な移動や市民の日常生活を支える道路ネットワークの強化により移動円滑化を図ること、また、安全で快適な道路環境を維持することを目的としています。		地域と連携した生活道路ネットワークの強化
			安全で快適な道路環境の維持
			道路空間の適切な管理と柔軟な運用
総位置付け	分野 まち	総合計画	97~99 ページ
政策	土木政策		

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
道路整備プログラムにより課題が解決された箇所数	箇所数	0	47	29	61.7%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	道路整備事業	道路整備課 道路維持課	①	2,237,775	2,067,408	170,367	21.59
02	広域幹線道路整備促進事業	土木政策課	①	62,256	34,243	28,013	3.55
03	街路整備事業(県営事業負担金)	土木政策課	①	44,038	36,542	7,496	0.95
04	踏切重点整備事業	道路整備課 道路維持課	①	20,467	15,259	5,208	0.66
05	通学路整備事業	道路維持課	①	39,130	29,976	9,154	1.16
06	里道等整備事業	道路維持課	①	87,461	69,706	17,755	2.25
07	交通安全施設等整備事業	道路維持課	①	58,106	45,875	12,231	1.55
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	2,549,233	2,299,009	250,224	31.71
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	<p>施策の問題点の整理</p> <p>●本市においては、「国際旅客船拠点形成港湾」指定に伴う佐世保港の整備により、多くのクルーズ船の寄港を目指しており、クルーズ観光客の観光バス等の増加が見込まれる中、九十九島の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟認定や「黒島の集落」を含む世界文化遺産、「鎮守府」と「三川内焼」の2つの日本遺産などの観光資源の活用、さらには特定複合施設(IR)の導入を目指していることなど、特に本市の観光産業を取り巻く環境は大きな変化が見込まれ、今後、交通需要が拡大すると考えられます。</p> <p>また、国防体制の強化を図るための防衛施設の新たな整備や、新たな企業立地に伴う交通需要の変化も考えられます。</p> <p>併せて、依然残されている主要渋滞箇所など、道路の問題が市民の日常生活に影響を及ぼしています。</p> <p>今後、高度経済成長期以降に整備された数多くの道路施設の老朽化が一斉に進み、施設機能を維持するための必要経費が高まっていく一方で、対応するための予算には限りがあります。</p>
	<p>問題点を解決するための方針（手段）</p> <p>●国道・県道を中心とした広域道路ネットワークの構築による移動円滑化を図り、利便性向上と経済活動の活性化を支えます。また、市道の改良・修繕・維持については、限られた行政資源(ヒト・モノ・カネ)のバランスが取れた施策の推進を図り、計画的かつ効果的に進めます。</p>
	<p>広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性</p> <p>●佐世保市域において中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿の調査研究や広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指し、連系中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

KPI達成状況	C KPI目標値に十分達成できなかった	<p>A:100～ KPI目標値を達成できた B:80～ KPI目標値を概ね達成できた C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった</p>
KPI達成状況の分析		
<p>●道路整備プログラムについては、従来の行政主導の量的整備や、地元主体の要望的事業への対応から、限られた財源を有効かつ地域のニーズを踏まえた道路整備を行うため、地域と優先順位などの対話を重ね、整備箇所の選定を行い5年間（第1期）の道路整備プログラムを策定し、令和元年度より運用を行っています。</p> <p>●KPIで設定する「道路整備プログラムにより課題が解決された箇所数」については、道路拡幅等の改良工事が完了した路線を箇所数に設定しており、事業推進を図っていく中で、用地交渉の長期化、詳細調査の結果による工法変更や物価高騰に伴う事業費の増加などから、進捗に影響が生じ、KPIの達成度については、結果として61.7%となりました。</p> <p>●本市のリーディングプロジェクトである前畑崎辺道路や主要幹線道路である東山手上部線などの大型事業は予定通りの進捗が図られています。</p>		
<p>施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性</p>		
重点化する事業	<p>【道路整備事業】</p> <p>●前畑崎辺道路や東山手上部線の事業促進を図ります。</p> <p>●道路整備プログラムの着実な運用のため、事業実施環境の状況に応じたフォローアップを適宜行い、市内全地区自治協議会との意見交換を継続するとともに、令和3年度に策定した佐世保市みちづくりマスタープランを活用し、所要額の予算確保に努めます。</p> <p>【広域幹線道路整備促進事業】</p> <p>●ミッシングリンク解消など国土強靱化に資する西九州自動車道松浦佐々道路や佐世保道路などの高規格道路やその他幹線道路の事業促進を図るため、事業協力を行うとともに事業促進への働きかけなど、要望活動をより一層推進します。</p> <p>【通学路整備事業】</p> <p>●通学路において登下校中に児童が巻き込まれる痛ましい事故が発生している状況を踏まえ、通学時における事故を未然に防止し、小学校が指定する通学路の安全性を確保するため、教育委員会が中心となり、小学校、地元町内会、PTAや保護者をはじめ、警察や道路管理者などと連携を図り通学路整備を推進します。</p>	
再編・再構築する事業	<p>【道路整備事業】</p> <p>●道路整備プログラム（第1期：令和元年度～令和5年度）の進捗とKPI達成状況を踏まえ、令和6年度からの第2期道路整備プログラムの策定に向けた検討を行います。</p>	
官民協働の方向性	<p>【道路整備事業】</p> <p>●用地交渉の長期化については、地域との意見交換を通じて協力要請も行いながら、用地取得に向けた取り組みを継続して行っていきます。</p> <p>●花高地区の民間開発との連携による道路整備を進めるとともに、都市政策や住宅施策、民間開発と連動した市道整備手法の検討を部局横断的に進めます。</p>	

令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	土木部	責任者 (部局長名)	田島 克巳
------	-----	---------------	-------

施策名	暮らしと成長を支える道路ネットワークの充実		施策の方向性	広域道路ネットワークの強化		
施策の目的	広域的な移動や市民の日常生活を支える道路ネットワークの強化により移動円滑化を図ること、また、安全で快適な道路環境を維持することを目的としています。			地域と連携した生活道路ネットワークの強化		
				安全で快適な道路環境の維持		
				道路空間の適切な管理と柔軟な運用		
総位置計付け	分野	まち	総合計画	97~99	ページ	
	政策	土木政策				

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
健全性診断区分IV(最も悪い「緊急措置段階」)の道路施設数	箇所数	5	0	0	100.0



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	道路環境維持管理事業	道路維持課 土木管理課	①	1,630,609	1,529,210	101,399	12.85
02	させば美化プロジェクト(道路)	土木政策課	①	10,424	3,164	7,260	0.92
03	道路等調査整理事業	土木管理課	①	151,066	52,428	98,638	12.50
04	道路等占用対策事業	土木管理課	①	38,591	1,977	36,614	4.64
05	台帳整備事業	土木管理課	①	47,622	31,919	15,703	1.99
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	1,878,312	1,618,698	259,614	32.90
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	<p>施策の問題点の整理</p> <p>●本市においては、「国際旅客船拠点形成港湾」指定に伴う佐世保港の整備により、多くのクルーズ船の寄港を目指しており、クルーズ観光客の観光バス等の増加が見込まれる中、九十九島の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟認定や「黒島の集落」を含む世界文化遺産、「鎮守府」と「三川内焼」の2つの日本遺産などの観光資源の活用、さらには特定複合施設(IR)の導入を目指していることなど、特に本市の観光産業を取り巻く環境は大きな変化が見込まれ、今後、交通需要が拡大すると考えられます。</p> <p>また、国防体制の強化を図るための防衛施設の新たな整備や、新たな企業立地に伴う交通需要の変化も考えられます。</p> <p>併せて、依然残されている主要渋滞箇所など、道路の問題が市民の日常生活に影響を及ぼしています。</p> <p>今後、高度経済成長期以降に整備された数多くの道路施設の老朽化が一斉に進み、施設機能を維持するための必要経費が高まっていく一方で、対応するための予算には限りがあります。</p>
	<p>問題点を解決するための方針（手段）</p> <p>●国道・県道を中心とした広域道路ネットワークの構築による移動円滑化を図り、利便性向上と経済活動の活性化を支えます。また、市道の改良・修繕・維持については、限られた行政資源(ヒト・モノ・カネ)のバランスが取れた施策の推進を図り、計画的かつ効果的に進めます。</p>
問題解決の方向性	<p>広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性</p> <p>●佐世保市域において中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿の調査研究や広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指し、連系中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A: 100% KPI目標値を達成できた
 B: 80%~ KPI目標値を概ね達成できた
 C: 60%~ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D: ~59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	A	KPI目標値を達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●KPIで設定する「健全性診断区分Ⅳの道路施設」については、5施設の修繕が完了し、令和3年度にKPIの目標値を達成することができました。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	再編・再構築する事業	<p>【道路環境維持管理事業】</p> <p>●国土強靱化に資する主な取組みとして、以下の取組みを実施します。</p> <p>●安全な道路環境維持管理のため、老朽化が進行する道路施設の点検や修繕等のメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）を確実に実施します。</p> <p>●舗装の維持管理修繕計画に基づき、交通量等の道路の利用状況などを踏まえた計画的・効率的な維持管理を図ります。</p>
官民協働の方向性		

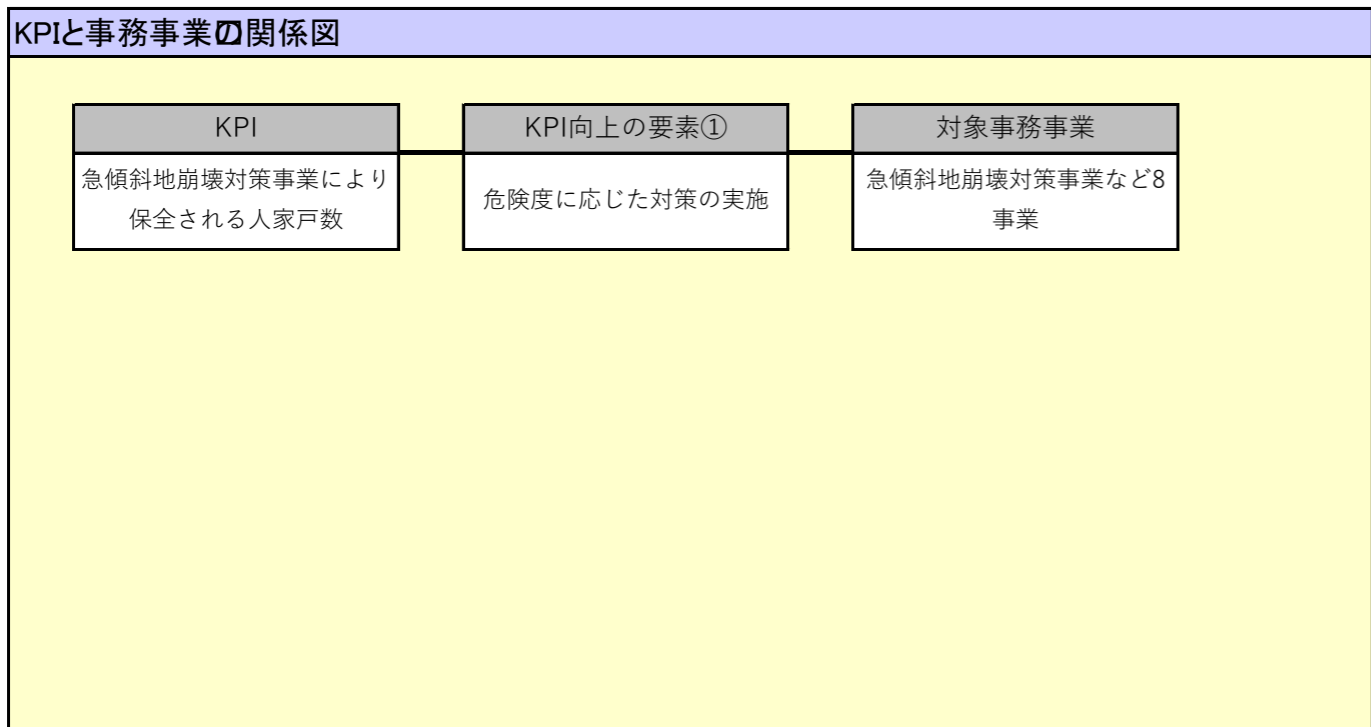
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	土木部	責任者 (部局長名)	田島 克巳
------	-----	---------------	-------

施策名	命を守る斜面地・浸水対策の推進		施策の方向性	災害危険箇所の危険度に応じた対策の実施	
施策の目的	頻発化・激甚化する降雨災害に対し、危険度に応じた計画的かつ効果的な対策を実施し、災害から住民の生命を守ることを目的としています。			住民に対する危険箇所情報の提供	
				既存施設の老朽化対策	
総位置付け	分野	まち	総合計画	100~101	ページ
	政策	土木政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
急傾斜地崩壊対策事業により保全される人家戸数	戸数	4,129	4,460	4,357	97.7



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	急傾斜地崩壊対策事業	河川課	①	581,134	547,676	33,458	4.24
02	河川附帯構造物管理事業	河川課 土木管理課	①	149,511	135,070	14,441	1.83
03	水防倉庫整備事業	河川課	①	6,735	2,316	4,419	0.56
04	河川整備事業	河川課	①	247,511	230,309	17,202	2.18
05	雨水渠整備受託事業	河川課	①	115,601	104,396	11,205	1.42
06	特殊地下壕対策事業	河川課	①	40,864	31,395	9,469	1.20
07	水路整備事業	道路維持課	①	80,900	71,825	9,075	1.15
08	洪水ハザードマップ作成事業	河川課	①	37,916	27,184	10,732	1.36
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	1,260,172	1,150,171	110,001	13.94
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●近年、降雨災害が頻発化・激甚化しており、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)の報告書にも示されているように、今後も極端な降水がより強く、より頻繁となる可能性が非常に高く、これまで想定していなかった災害が発生する恐れが高まっています。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針(手段)
	<p>●急傾斜地や河川などの災害危険箇所については、危険度に応じた計画的かつ効果的な対策を進めるとともに、住民が危険を認知するためのハザードマップを作成、配布し、活用を促しながら、災害から住民の生命を守る安全な環境を作ります。</p>
西九州させば広域都市圏における方向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●佐世保市域において中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿の調査研究や広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指し、連系中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●令和3年度における急傾斜地崩壊対策事業について、計画期間における目標値には届かなかったものの、単年度に目標とする保全戸数には達することができました(目標90戸→実績98戸)。 ●急傾斜施設の整備については、令和4年度から事業待ち期間の短縮を図るため事業の促進を図ることとしており、引き続き、防災・減災に資する本事業の加速化を図ります。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【急傾斜地崩壊対策事業】	●事業促進を図るため、国・県に対して事業費確保の要望を継続し、令和7年度までの国土強靱化5か年加速化対策の期間に予算を獲得して集中的に事業に取り組みます。
	【河川整備事業】 【水路整備事業】	●河川整備事業及び水路整備事業については、地域防災計画に位置付けられた危険箇所や地元要望等に基づき優先度を見極めながら、河川及び水路の改良工事や維持管理(河川巡視等)を実施します。また、浚渫・伐採に関しては緊急浚渫推進事業債の積極的な活用を図ります。
再編・再構築する事業	【雨水渠整備受託事業】	●水道局からの受託事業である雨水渠整備受託事業については、特に日野、椎木地区における大雨時の浸水被害を抑制するための椎木ポンプ場新設工事を関係機関や地元町内会等と協力して促進します。
	【洪水ハザードマップ作成事業】	●洪水ハザードマップ作成事業については、水位情報周知河川の7河川に加え、その他の二級河川についても、水防法改正の動向を注視しつつ、河川管理者に新規指定の要望を行いながら、ハザードマップの作成・普及を推進します。
官民協働の方向性	【急傾斜地崩壊対策事業】	●令和7年度までの国土強靱化5か年加速化対策の期間に集中的に事業に取り組むため、事業計画のフォローアップを図るとともに国・県に対し事業費確保の要望を行います。
	【雨水渠整備受託事業】	●令和3年度から実施している雨水渠(暗渠)調査を継続的に実施します。また、水道局からの受託事業である雨水渠整備受託事業については、他都市の事例を調査し、最適な業務のあり方について、水道局と継続して協議を行います。
官民協働の方向性	【洪水ハザードマップ作成事業】	●洪水ハザードマップについては、作成協議会において、地元の皆様と過去の浸水実績など意見交換を行いながら作成します。
		●気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減する流域治水プロジェクトが、長崎県管理の2級河川において実施されており、市としても県に協力してまいります。

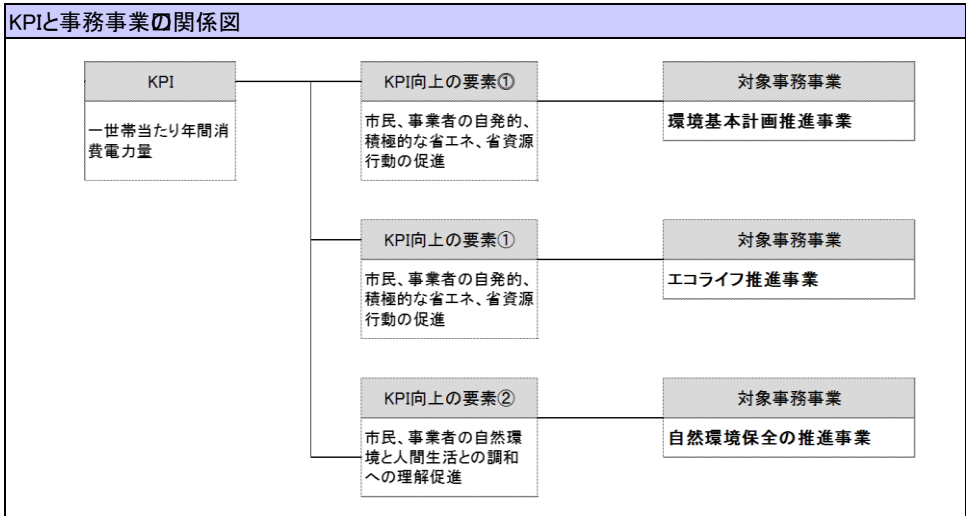
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 2022.9.8

担当部局	環境部	責任者 (部局長名)	吉田敏之
------	-----	---------------	------

施策名	環境保全活動の推進		施策の方向性	環境教育・環境学習の推進	
施策の目的	市民や事業による環境に配慮した行動の実践を通して、良好な環境を保全することを目的としています。			地球温暖化対策の推進	
				自然環境の保全	
総位置 合置 計付 画け	分野	まち	総合計画	104~105	ページ
	政策	環境政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
			平成30年度	目標値	
一世帯当たり年間電力消費量	kWh	5,778	5,614	5,140	108.4%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	環境基本計画推進事業	環境政策課	①	16,436	6,967	9,469	1.20
02	エコライフ推進事業	環境政策課	①	56,129	10,203	45,926	5.82
03	自然環境保全の推進事業	環境政策課	②	10,101	632	9,469	1.20
04				-			
05				-			
06				-			
07				-			
08				-			
09				-			
10				-			
11				-			
12				-			
13				-			

事業費等の合計	82,666	17,802	64,864	8.22
---------	--------	--------	--------	------